

選 拳 運 動 收 支 報 告 書

1 令和8年2月8日執行 境町長選挙

2 公職の候補者 住所 茨城県猿島郡境町
氏名

3 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 第 回分

4 収入の部

5 支出の部

支 出 の う ち 公 費 負 担 相 當 額	項 目	単 価 (A)	数 量 (B)	金 額 $((A) \times (B) = (C))$

この報告書は、公職選挙法の規定に従って作製したものであって、真実に相違ありません。

令和 年 月 日

出納責任者 住 所
氏 名

印

備考

- 備考

 - 収入の部においては、一件1万円を超えるものについては各件ごとに記載し、一件1万円以下のものについては、種別ごとに各収入日における合計額を一欄に記載するものとする。
なお寄附については一件1万円以下のものについても必要に応じて各件ごとに記載してもさしつかえない。
 - 収入の部中「種別」の欄には、寄附金、その他の収入の区別を明記するものとする。
 - 支出の部中「区分」の欄には、立候補準備のために支出した費用と選挙運動のため支出した費用との区別を明記するものとする。
 - 精算届後の報告書にあっては、「収入の部」「支出の部」とともに前回報告した金額をあわせて総額の欄に記載するものとする。
 - 収入の部の記載については、収入簿の記載上の留意事項中②から⑥までの例により、支出の部の記載については支出簿の記載上の留意事項中③から⑧までの例によるものとする。

選 拳 運 動 収 支 報 告 書

1 令和8年2月8日執行 境町長選挙

**候補者の住所・氏名を
必ず記載すること。**

記載例

2 公職の候補者

茨城県猿島郡境町大字〇〇 391 番地 1

3 令和 8 年 ○ 月 ○ 日から 令和 8 年 ○ 月 ○ 日まで第 1 回分

4 収入の部

金額欄は繰り返しの記号
（〃）は使用しないこと。

「その他の収入」と「寄附」の2種別しかないこと。

**寄附の場合は、職業欄
を必ず記載すること。**

参 考

公費負担相当額 335,000円（選挙運動に係る公費負担相当額）

ピラ作成費 40,000円

ポスター作成費 295,000円（契約金額は300,000円（うち、5,000円は自己負担）

5 支出の部

月 日	金 銭 又 は 見 積 額	区分	支出の目的	支 出 を 受 け た 者			金銭以外の支出 の見積の根拠	備 考
				住 所 又 は 主 た る 事 務 所 の 所 在 地	氏 名 又 は 団 体 名	職 業		
2月 7日	30,000 円	選挙運動	労務者報酬	境町大字○○○番地	丙 田 三 郎	無職	2月5日～7日 1日10,000円×3日	労務無償従事
2月 7日	50,000	々	労務者報酬	境町大字○○○番地	○ ○ ○ ○	農業		10,000円×5日
2月 7日	75,000	々	車上運動員報酬	境町○○○番地	○ ○ ○ ○	無職		15,000円×5日
2月 8日	75,000	々	事務員報酬	境町○○○番地	○ ○ ○ ○	学生		15,000円×5日
(人件費計)	230,000			立候補届出日の前日までの支出は「立候補準備」と、立候補届出日以後の支出は「選挙運動」と記載すること。				
2月 1日	30,000	立候補準備	電話架設費	栃木市○○○番地	(株) ○○○	職業欄を必ず 記載すること。	支出の内訳を 記載すること。	
2月 9日	120,000	選挙運動	机、椅子リース料	○○市○○番地	○○サービス			
(家屋費計)	150,000			科目10費目ごとに、時系列順にそれぞれまとめて記載すること。				
2月 9日	25,000	選挙運動	電話機リース料	栃木市○○○番地	○○電機			
2月 9日	70,000	々	パソコンリース料	○○市○○番地	○○サービス			
2月 9日	8,000	々	インターネット通信料	○○市○○番地	○○通信			
(通信費計)	103,000							
2月 6日	1,700	選挙運動	事務員 車賃	境町○○○番地	○ ○ ○ ○	学生	○○～○○間	実費弁償
(交通費計)	1,700			公費負担額ではなく、実支出額を記入すること。 ※公費負担額を上回った場合は、差額分の領収書等の添付が必要です。				
2月 1日	300,000	立候補準備	ポスター印刷代	○○市○丁目○番○号	株) ○○印刷		公費負担 うち5,000円自己負担	
2月 2日	40,000	々	ビラ印刷代	○○市○○番地	○○印刷(株)			
2月 2日	10,000	々	葉書印刷代	々	々			
(印刷費計)	350,000			公費負担の対象となる支出については、 契約日を記入すること。				
2月 2日	25,000	立候補準備	事務所用看板代	境町○○○番地	○○看板店			
2月 2日	120,000	々	自動車用看板代	々	々			
2月 4日	50,000	選挙運動	拡声機使用料	A市○○○番地	乙 川 二 郎	会社員	1日10,000円×5日	無償提供
(広告費計)	195,000							
2月 1日	2,500	立候補準備	コピー用紙	境町○○○番地	○○文具店			250円×10束
(文具費計)	2,500							
2月 3日	7,875	選挙運動	煎茶	境町○○○番地	○○製茶			1,575円×5個
2月 3日	11,500	選挙運動	茶菓子	境町○○○番地	スーパー○○店			
2月 3日	30,000	選挙運動	弁当代	境町○○○番地	○○食堂			1,500円×20食
2月 4日	37,500	選挙運動	弁当代	境町○○○番地	○○食堂			1,500円×25食
2月 5日	30,000	選挙運動	弁当代	境町○○○番地	○○食堂			1,500円×20食
2月 6日	30,000	選挙運動	弁当代	境町○○○番地	○○食堂			1,500円×20食
2月 7日	45,000	選挙運動	弁当代	境町○○○番地	○○食堂			1,500円×30食
(食糧費計)	191,875							
月 日								
(休泊費計)	0							
2月 8日	9,500	選挙運動	電気代	境町○○○番地	○○電力			95円×100kW
(雑費計)	9,500							

この報告書は、公職選舉法の規定に従って作成された。

提出日を記入すること。
※1回目の提出期限は選挙期日(2月8日)から15日以内。

出納責任者の氏名住所と押印をして提出すること。

令和 8 年 2 月 ○ 日

出納責任者 住 所

茨城県猿島郡境町大字○○ 1617番地3

氏名

旭 太 郎

印

備考

- 備考**

 1. 収入の部においては、一件1万円を超えるものについては各件ごとに記載し、一件1万円以下のものについては、種別ごとに各収入日における合計額を一欄に記載するものとする。
なお寄附については一件1万円以下のものについても必要に応じて各件ごとに記載してもさしつかえない。
 2. 収入の部中「種別」の欄には、寄附金、その他の収入の区別を明記するものとする。
 3. 支出の部中「区分」の欄には、立候補準備のために支出した費用と選挙運動のため支出した費用との区別を明記するものとする。
 4. 精算届後の報告書にあっては、「収入の部」「支出の部」とともに前回報告した金額をあわせて総額の欄に記載するものとする。
 5. 収入の部の記載については、収入簿の記載上の留意事項中②から⑥までの例により、支出の部の記載については支出簿の記載上の留意事項中③から⑧までの例によるものとする。

記載上の留意事項

1. この帳簿には、選挙運動に関するすべての寄附及びその他の収入(候補者のために、候補者又は出納責任者と意思を通じて第三者が受け取った寄附を含む。)を記載する。
2. 債務の免除、保証その他金銭以外の財産上の利益の收受については、その責務又は利益を時価に見積もった金額を記載する。
3. 寄附及びその他の収入が金銭以外のものであるときは「金銭以外の寄附及びその他の収入の見積りの根拠」の欄にその員数、金額、見積の根拠等を記載する。
4. 寄附の中、金銭、物品、その他の財産上の利益の供与又は交付の約束は、その約束の日の現在において記載するものとし、その旨並びにその履行の有無及び年月日等を「備考」欄に記載する。
5. 「種別」の欄には寄附金とその他の収入との区別を明記する。
6. 前各号に定めるものの外、出納責任者において必要と認める事項を記載することができる。

收入簿

記載上の留意事項

1. この帳簿には、選挙運動に関するすべての支出(候補者又は出納責任者と意思を通じてなされた支出を含む。)を記載する。
2. この帳簿には、①立候補準備のために支出した費用、②選挙運動のために支出した費用の二科目を設けて(又は各々分冊して)記載し、「支出をした者の別」欄に、出納責任者の支出、候補者の支出、その他の者の支出の別を明記する。
3. この帳簿の各科目には、(1)人件費、(2)家屋費[(イ)選挙事務所費(ロ)集合会場費等]、(3)通信費、(4)交通費、(5)印刷費、(6)広告費、(7)文具費、(8)食糧費、(9)休泊費、(10)雑費の費目を設けて、費目ごとに記載する。
4. 金銭の支出をしたときは、「金額又は見積額」欄中「金銭支出」の欄に記載し、財産上の義務を負担し、又は建物、船車馬、飲食物その他の金銭以外の財産上の利益を使用し、若しくは消費したときは「金銭以外の支出」の欄に時価に見積もった金額を記載し、その都度あわせて合計を記載する。
前項の場合「金銭支出」と「金銭以外の支出」とは、別行に記載する。
5. 支出が金銭以外の支出であるときは「金銭以外の支出の見積の根拠」の欄に、その員数、金額、見積の根拠等を記載する。
6. 「支出の目的」の欄には、支出の目的(謝金、人夫賃、家屋贈与等)、員数等を記載する。
7. 支出の中、金銭、物品、その他の財産上の利益の供与又は交付の約束は、その約束の日の現在において記載するものとし、その旨並びに履行の有無及び年月日を「備考」欄に記載する。
8. 前各号に定めるものの外、出納責任者において必要と認める事項を記載することができる。

支 出 簿

領収書等を徵し難い事情があった支出の明細書

支出の年月日	支出の金額	区分	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき 書面を徵し難かった事情
月　日	円			

1 令和8年2月8日執行 境町長選挙

2 公職の候補者 住 所

氏 名

3 出納責任者 住 所

氏 名

※1 「区分」の欄には、立候補準備のために要した費用及び選挙運動のために支出した費用の区別を明記する。

※2 「支出の目的」の欄には、支出簿の⑥の例により記載する。

領収書等を徵し難い事情があった支出の明細書

支出の年月日	支出の金額	区分	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徵し難かった事情
R8. 2. 1	295,000 円	立候補準備	ポスター印刷代	公費負担のため ※5,000円は実費負担
R8. 2. 2	8,000	立候補準備	ビラ印刷代	公費負担のため
R8. 2. 4	50,000	選挙運動	広告費(拡声機の使用料)	機器の無償提供のため
R8. 2. 7	50,000	々	人件費(労務者報酬)	労務の無償提供のため
こちらの様式は、領収書を発行しない慣例となっている場合や金融機関への振り込みによる支出に係るものも含め、領収書を徵収できない場合の支出について記載しておぐもの。				公費負担額を上回ったことから支払った実費負担分(差額)については領収書等の提出が必要です。

1 令和8年2月8日執行 境町長選挙

2 公職の候補者 住 所 茨城県猿島郡境町大字〇〇391番地1

氏 名 境 一 郎

3 出納責任者 住 所 茨城県猿島郡境町大字〇〇1617番地3

氏 名 旭 太 郎

※1 「区分」の欄には、立候補準備のために要した費用及び選挙運動のために支出した費用の区別を明記する。

※2 「支出の目的」の欄には、支出簿の⑥の例により記載する。